

「応援します!! あなたの農業」

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 2 1 号 平成 1 8 年 1 2 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号
財団法人福島県農業振興公社
TEL 024-521-9834 FAX 024-521-8277

止まるのか農地価格の下落？

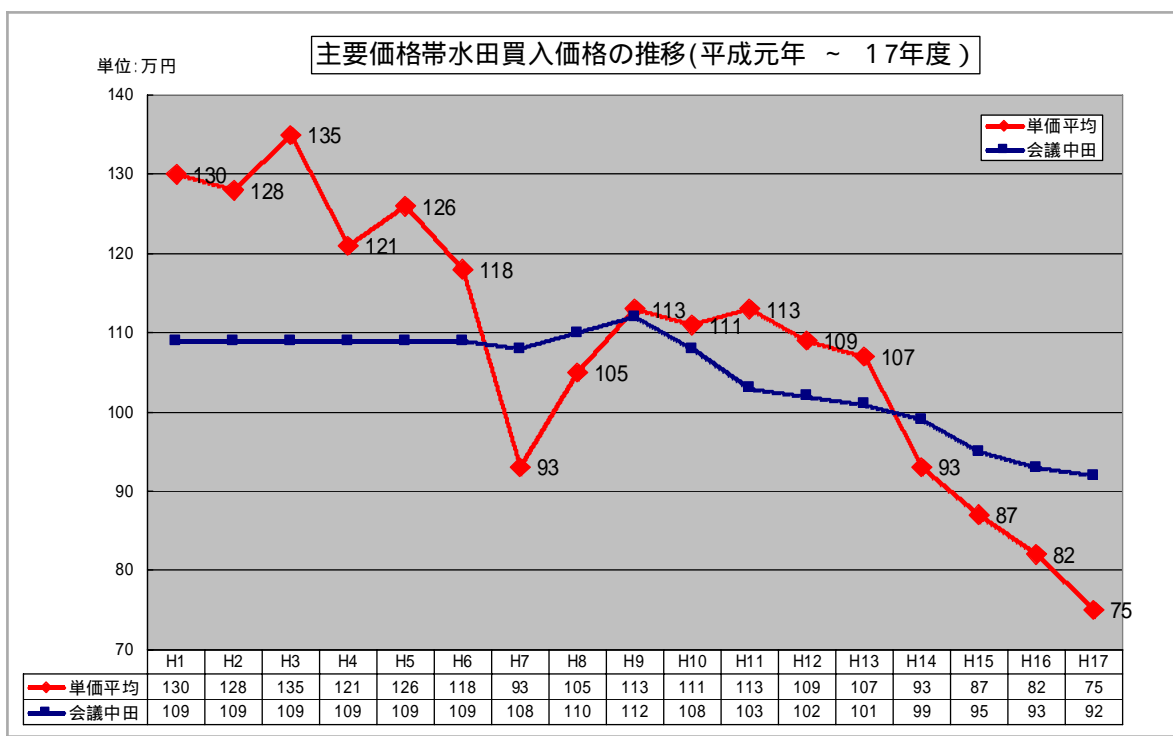
～ 公社買入水田主要価格帯の推移 ～

当公社の水田買入価格は、原則として地元農業委員会の利用調整に基づくものでありますが、米販売価格の下落傾向や農地の担保評価の低下などを反映して、平成 3 年度のピーク対比で、ついに 1 7 年度で 4 5 % の下落となってしまいました。

下記に表示してあるグラフは、主要価格帯の一筆毎の買入単価平均の推移です。集計している主

要価格帯とは都市近郊の高価格（200万円/10a以上）を除く価格帯を指しています。

公社買入水田の過半は会津地域であることから、福島県農業会議が公表している県の中田価格の推移と若干異なる動きとなっておりますので、18年度上期では若干80万円台まで戻しておりますが、下期の動向に注目しております。



平成18年度・農地保有
合理化事業推進会議を開催

去る12月13日(水)郡山市の福島県農業総合センター「多目的ホール」において、県、市町村、農業委員会及びJAさんの合理化事業にかかる関係者約140名が一堂に会し、本年度の農地保有合理化事業の推進会議を開催いたしました。



この会議は、毎年当公社が主催して開催しているものですが、今回は、来年度から3ヶ年を重点期間として実施される国の農地改革とその基幹事業である合理化事業について、来年度予算概算要求に基づく合理化事業補助体系の見直しの内容、品目横断的経営安定対策に対応する利用権設定や農作業受委託の留意点と期間内平均生産面積の付け替え措置、合理化事業を活用した集团的土地利用の成果に対する経済的効果調査の結果などについて、公社担当より詳細に説明し、合理化事業のより一層の推進を要請いたしました。

特に平成19年度の合理化事業については、農地改革を推進する施策として、「担い手に対して面的なまとまりのある形で農地利用の集積」を促進する観点から、事業発足以来初めて大幅な事業の再構築が図られることとなります。

改正の内容については、次号で詳細に紹介いたします。

第9回 農地保有合理化法人
連絡会議を開催

去る11月7日(火)、福島市の福島県自治会館において、第9回(本年度初回)となる合理化法人連絡会議を開催いたしました。この連絡会議は、県内の合理化法人と機関・団体の関係者に参集願い、合理化法人相互の連携を強化し積極的な事業推進を図るため、毎年2回開催しております。

今回は、東北農政局構造改善課の佐藤課長補佐と田口係長に出席をいただき、農地保有合理化事業に関連する平成19年度予算概算要求の内容について、詳細な説明を受けました。



県内全てのJAさんは、来年度末までに農地保有合理化法人の指定をうけるべく鋭意推進中であることから、全てのJAさんに対して参集のご案内を差し上げましたところ、11JAさんはじめ関係者など約30名の方が参加されました。

過去最高の精算実績

当公社が平成18年の利用集積として精算した賃借料(小作料)と農作業料金の実績が、昨年の実績を抜き過去最高となりました。このことは、賃借料、作業料金とも単価が下がっているなかで、集落営農などの集团的土地利用調整による支援が進んだ結果です。農用地利用改善団体をはじめ関係した皆さんのご協力に感謝いたします。

賃借料収入 1,919件、406,410千円
農作業収入 2,329件、391,535千円

加藤和成さん東北農村青年会議で最優秀賞受賞

11月14日から16日までの3日間、宮城県松島町において第37回東北農村青年会議宮城大会が開催されました。

この会議は毎年東北各県が持ち回りで開催しているもので、東北の意欲ある農業青年が、日頃の農業経営、農村生活で得た知識や技術・研究成果等を相互交換すると共に、資質向上を図ることを目的にプロジェクト発表会・講演会・現地研修や夜の交流会等を行うものです。

プロジェクト発表の意見発表の部では、福島県代表の加藤和成さん（D”ATCH・安達地方農業後継者クラブ）が、「ステップアップ - 2度目のチャレンジ - 」と題して、就農・離農を繰返した



なかから自分の状況を見つめ直し、農業へ再チャレンジしている様子を発表し、最優秀賞（東北農政局長賞）に輝きました。

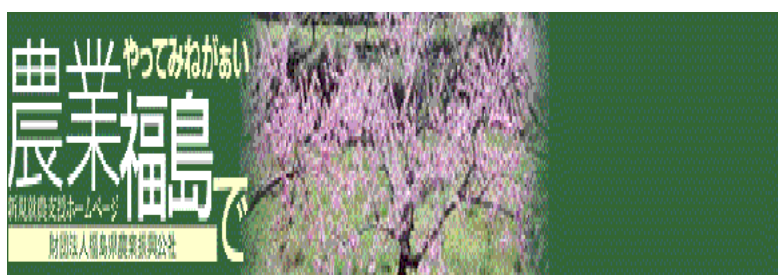
第1回福島県農業青年大運動会を開催しました



12月3日（日）郡山市「ふるさとの森スポーツパーク」において、当大運動会が開催されました。

本県の農業青年が一堂に会し、日頃の農作業で鍛えた体に「ほとばしる情熱」と「わきたつ熱意」を注ぎ込み、各種スポーツに取り込むもので、当日はバレーボール大会など多彩な競技がくりひろげられ、お互いの友情と連帯感が大いに深められました。

新規就農支援ホ - ムペ - ジを開設しました



青年農業者等育成センターでは、新規就農希望者に対する情報を発信するためにホ - ムペ - ジを開設しました。アドレスは、次のとおりです。

皆さまのご利用をお待ちしております。
アドレス：<http://www.fnk.-syunou.jp/>

経営開始支援資金を活用された安齋孝和さん(二本松市)

私がサラリーマンを経験した後に就農して5年が経ちました。

周囲の身近な方々から、まだまだ心配をいただいています。同世代の農業青年クラブの皆の前向きさに良い刺激を受けながら農業を頑張っています。

私が就農してから強く感じるものの一つに「農業を営む人達の印象」があります。

それは精神の強さです。きっと生物と自然を相手にする職業ゆえのものでしょう。おおらかさからくる柔らかい印象と、全ての事象を受け止め入れて前に進むたく力強い印象です。

例えば、先日の価格暴落のために行われた農産物処分です。収穫期の野菜がトラクタで砕かれる様子と苦笑いでインタビューに応える生産者に消費者は異様な感じがしたと思います。

しかし、私は到底真似することの出来ない潔さと力強さを感じました。

私もいずれ、自然と生物が相手ですからこうい



った場面に遭うかもしれません。そのような時のために、貴重な経験であると思える精神力と技術を身につけていきたいと思えます。(そういう場面に遭遇しない技術も)

私は命を支える食を根本でしっかり守っていく農業を営んでいることを、誇りに感じています。

力強く働き素敵な農産物を家庭に届けます。落ち込むことがあってもおいしいものを食べればモヤモヤイライラと悩んでいたことも忘れずからね！食べることは平和の基本ですよ、きっと。

編集後記

今年のプロ野球オフシーズン最大の話題であった松坂投手の大リーグ移籍が正式に決定した。ポストティングシステムにより交渉権を得たアメリカ東部地区の名門球団であるボストンレッドソックスとの契約が61億円(6年契約)で合意に達したとのニュースが伝えられた。

この多額の契約金額は最近の日本人選手の大リーグでの活躍もあって、松坂投手が高い評価を受けた形であるが、素直に喜べないような気がする。日本を代表するプロ野球選手の国内でのプレ-が見られなくなるからである。このまま国内の一流選手の流出が続くと、国内のプロ野球のレベルが低くなり人気凋落傾向に更なる拍車がかかり日本プロ野球が危機的な状況に陥るような気がしてならない。

k . k

問い合わせ

あて先 〒960-8681
福島県福島市中町8番2号
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(521)8277
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。
<http://www.fnk.or.jp>

「油断せず いつも心に 初心者マーク」